

これまでの協議会で出された地域の主な課題 (復興事業の推進に加えて)

①身近に人が集まる場所が必要

仮設の集会所のような場や、震災前の店先や公民館などのように住民が集まる場、買い物等の生活サービスの場が必要である

②喉元広場や低地部の活用

まちの中心部にある喉元広場の活用や低地の活用、散策・避難ルート、また、それらの景観づくり(植栽等)などが必要である

③海辺の活用

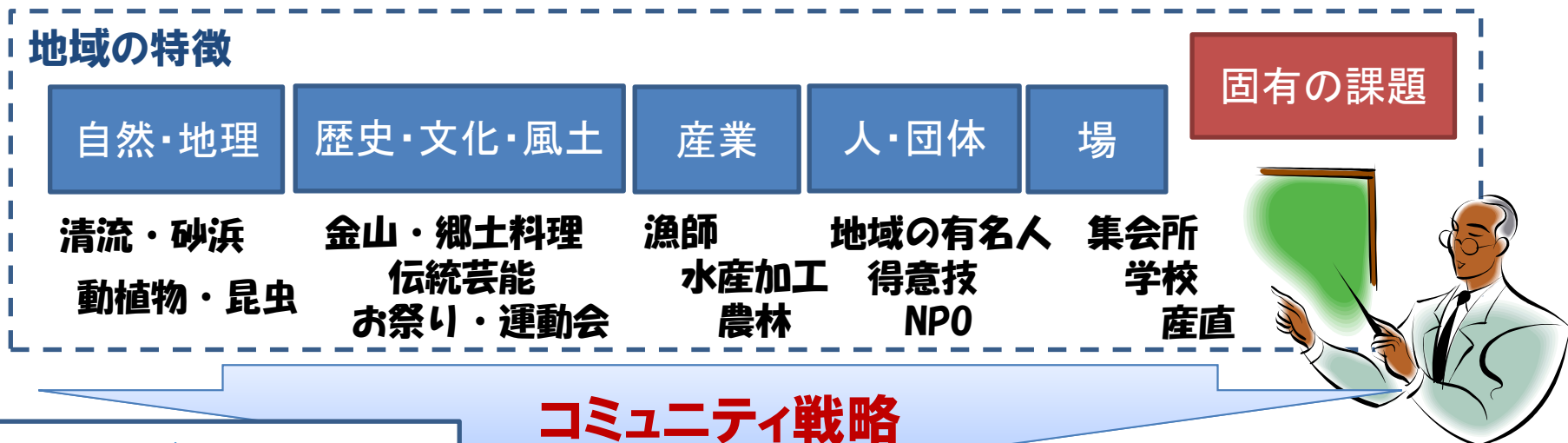
昨年(2016年)の第3回、第5回協議会で協議したとおり、海辺の活用し、地域で様々な活動ができる場、働く場としていくことが必要である



課題に対応し、実現できる計画をつくる

赤浜の「コミュニティ戦略」をつくる(町からの提案)

(赤浜の計画)



コミュニティ戦略

これまで挙げられなかった
課題への対応も検討

健康づくり
介護予防

自治会活動

環境・美化

子育て支援

課題を解決しながら
人のつながり、地域の力を維持発展し
暮らしを支える

防災

高齢者支援
買い物支援

人口減少
対策

観光
地域ビジネス

赤浜のコミュニティ戦略の案
(これまでの意見等を踏まえて)

海と共にある赤浜らしい暮らしの再生(仮)

戦略1 赤浜らしい暮らしの再生

赤浜の細やかで多様な人のつながりを維持し、復興後の暮らしにつなげる

戦略2 赤浜の自然環境と歴史の継承

赤浜の豊かな自然環境と歴史を住民の日常生活に取り込み多世代にわたって楽しむ

戦略3 地域内外の交流促進

大槌湾の恵みを中心とした地域資源の再発掘と持続可能な地域外交流への展開

重点プロジェクトの案

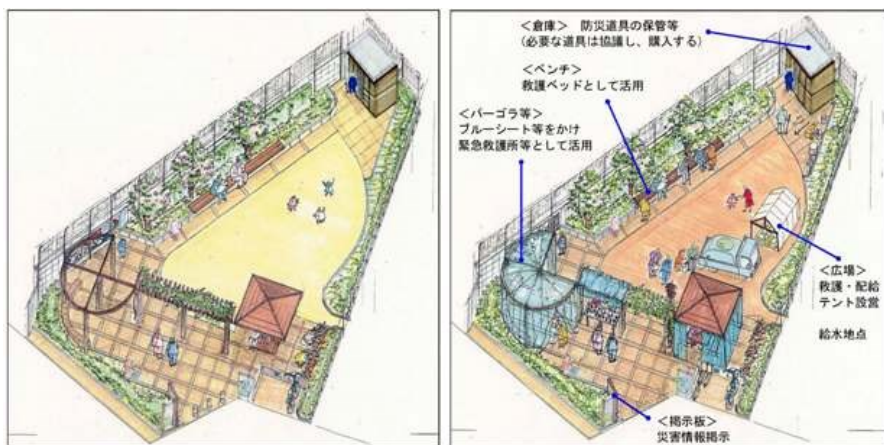
①まちかど活用プロジェクト (戦略1に対応)

住民が気軽に集まり、活動できる場をつくる

移動販売車が集まるなど、生活の場をつくる

○大阪市のみちかど広場のイメージ

○移動販売車のイメージ



重点プロジェクトの案

②遊び・健康づくり創造プロジェクト(戦略2に対応)

日常的な住民の移動にも活用できる散策ルートづくり

避難路や山道の活用可能性の検証

道路法面の緑化・地域での管理

○イメージ(千葉市 公園管理)



○イメージ(岩沼市 千年希望ヶ丘の植樹)



重点プロジェクトの案

③赤浜里海里山プロジェクト（戦略3に対応）

海に関する体験、実験などのメニュー（海の勉強室）

赤浜の子どもたち等のための活動

赤浜のファンクラブを設置（赤浜出身者等の名簿づくり）

○海の勉強室のメニューの例

- | | |
|-------------|-------------|
| ①素もぐり体験 | ②いきもの実験 |
| ③東大の研究を手伝おう | ④ひょうたん島探検 |
| ⑤養殖イカダ見学 | ⑥のしイカ・干物づくり |
| ⑦海中写真撮影講座 | ⑧海産物販売 |
| ⑨公民館解体イベント | ⑩語り部講習会 |

スケジュールの案

6月	7~9月	10月	11月	2月	4月
<p>第1回 協議会</p> <p>復興事業の 進捗の説明</p> <p>戦略について の説明</p> <p>重点プロジェ クト③につい ての協議</p>	<p>重点プロ ジェクト③ の活動</p>	<p>第2回 協議会</p> <p>復興事業の 進捗の説明</p> <p>戦略案につ いて協議</p> <p>重点プロジェ クト①につい ての協議</p>	<p>第3回 協議会</p> <p>復興事業に ついての詳細 な説明</p>	<p>第4回 協議会</p> <p>復興事業の 進捗の説明</p> <p>重点プロジェ クト②につい ての協議</p> <p>戦略のとりま とめ</p>	<p>戦略に ついての 報告会</p>

今回の協議のポイント①

まずは、地域のコミュニティの課題について意見交換（全体での意見交換）

1) 赤浜のコミュニティの課題を出し合う

2) コミュニティ戦略の案の妥当性を確認

今回の協議のポイント②

次に、グループに分かれて意見交換

今年の夏から実践できるように、今回は主に重点プロジェクト③赤浜里海里山プロジェクトについて協議

- 1) 地域資源を生かした子供や外からのお客さんと呼ぶ
方策としての海の勉強室
- 2) 地域の子供たちの活動
(例: 夏休みのラジオ体操の実施)
- 3) 赤浜出身者などによる拡大コミュニティの形成
(名簿作成や赤浜通信作成など)

協議の結果について

本日の協議会の意見を踏まえ、
赤浜コミュニティ戦略の案を拡充し、
次回の協議会で提示します。